

**2018年3月期（第22期）
第3四半期 決算説明会**

(2017年10月～12月)

2018年2月9日

日本通信株式会社

I. はじめに

(代表取締役会長 三田 聖二)

II. 第3四半期決算の概要

(代表取締役社長 福田 尚久)

III. 現在の取り組み

(代表取締役社長 福田 尚久)

IV. Q & A

<ご注意>

本資料に記載された見解、見通し、および予測等は、本資料作成時点での当社の判断によるものです。当社では、これらの情報の正確性を保証するものではありません。また、今後の市場環境の変化等の様々な要因により、今後の見通しおよび予測等が本資料とは異なるものとなる可能性があります。何卒ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

はじめに

代表取締役会長

三田 聖二

日本通信の使命

2018~

“Secure & Reliable
Telecommunications”
(安心・安全な通信)
を先導し、飛躍的成長

2007~2017

“MVNO市場”を作り
成長させた

- Fintech
- セキュア・オフィス
- IoT 他

- 格安SIM
- 753社のMVNO事業者

1996~2007

MVNOビジネスモデル
を実証

- テレコムサービス
- PHS MVNOサービス

第3四半期決算の概要

代表取締役社長

福田 尚久


Q3決算の概要 事業面

(単位：百万円)

	Q1	Q2	Q3	
売上	706	770	770	
通信売上	631	675	761	通信売上は積み上がりつつある
ハードウェア売上	75	94	9	
営業損失	▲380	▲315	▲250	損失幅は減りつつある

Changes from Q1 to Q2: 通信売上 (+44), ハードウェア売上 (+19), 営業損失 (+65)

Changes from Q2 to Q3: 通信売上 (+86), ハードウェア売上 (-85), 営業損失 (+65)



特別損失を計上

連結

減損損失	1,220百万円
------	----------

個別

減損損失	1,038百万円
関係会社株式評価損	305百万円
貸倒引当金繰入額	194百万円

第3四半期 実績 (連結)

単位：百万円	Q3 18/3期	前四半期		前年同期	
		Q2 18/3期	Q to Q	Q3 17/3期	Y to Y
売上高	770 100.0%	770 100.0%	0 0.1%	677 100.0%	93 13.9%
売上原価	665 86.4%	686 89.1%	▲ 20 ▲3.0%	662 97.8%	3 0.6%
売上総利益	104 13.6%	83 10.9%	21 25.4%	14 2.2%	89 600.9%
販売費及び一般管理費	355 46.1%	399 51.9%	▲ 44 ▲11.1%	748 110.6%	▲ 393 ▲52.5%
営業利益	▲ 250 ▲32.5%	▲ 315 ▲41.0%	65 -	▲ 733 ▲108.4%	483 -
経常利益	▲ 253 ▲32.9%	▲ 314 ▲40.9%	60 -	▲ 717 ▲106.0%	463 -
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 1,527 ▲198.1%	▲ 315 ▲41.0%	▲ 1,211 -	▲ 737 ▲108.9%	▲ 790 -

バランスシート (連結)

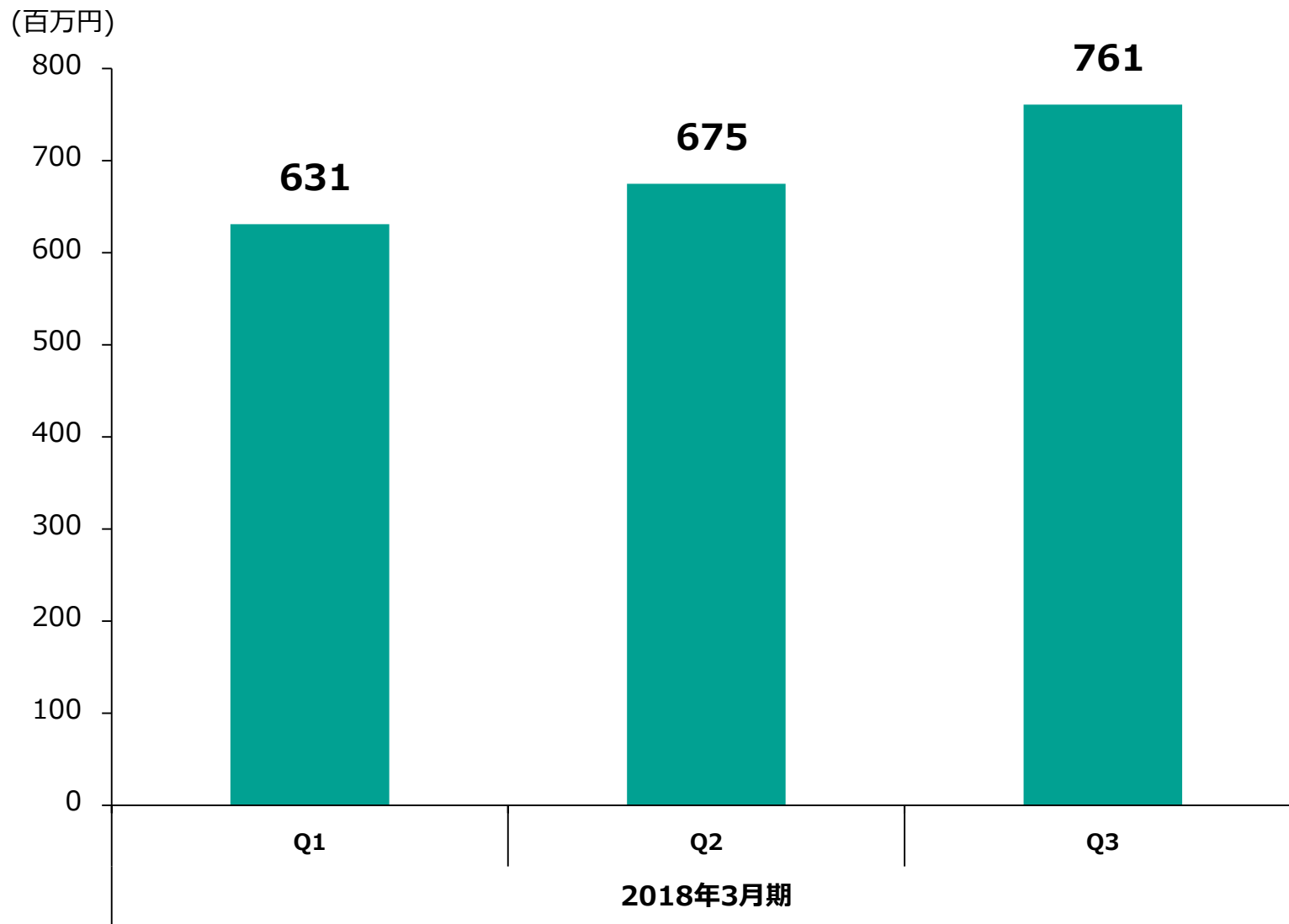
単位：百万円	Q3 18/3期	前四半期		前年同期	
		Q2 18/3期	Q to Q	Q3 17/3期	Y to Y
流動資産	2,992	3,156	▲163	4,213	▲1,221
現金及び預金	2,112	1,875	237	2,640	▲527
売掛金	526	815	▲288	1,234	▲707
商品等	305	342	▲37	241	63
繰延税金資産	—	52	▲52	176	▲176
その他流動資産	124	139	▲15	556	▲432
貸倒引当金	▲75	▲69	▲6	▲635	559
固定資産	145	1,405	▲1,260	1,471	▲1,326
有形固定資産	—	230	▲230	236	▲236
無形固定資産	—	1,029	▲1,029	1,107	▲1,107
投資その他	145	145	▲0	127	17
繰延資産	8	10	▲1	11	▲2
資産合計	3,146	4,571	▲1,425	5,696	▲2,550
流動負債	2,019	2,357	▲338	2,829	▲809
買掛金	268	289	▲20	313	▲44
前受収益	77	90	▲12	94	▲17
借入金	1,098	1,213	▲115	1,609	▲511
その他流動負債	575	764	▲188	811	▲235
固定負債	66	71	▲5	267	▲201
負債合計	2,086	2,429	▲343	3,096	▲1,010
純資産	1,060	2,142	▲1,081	2,599	▲1,539
負債純資産合計	3,146	4,571	▲1,425	5,696	▲2,550

キャッシュ・フロー計算書（連結）

単位：百万円	Q3 18/3期	前四半期		前年同期	
		Q2 18/3期	Q to Q	Q3 17/3期	Y to Y
営業活動による キャッシュ・フロー	▲47	▲174	127	▲339	292
投資活動による キャッシュ・フロー	90	▲57	148	▲191	282
財務活動による キャッシュ・フロー	312	▲165	478	▲151	463
現金及び現金同等物に係る 換算差額	1	2	▲0	53	▲52
現金及び現金同等物の増減額	356	▲395	752	▲629	986
現金及び現金同等物の期首残高	744	1,140	▲395	1,986	▲1,241
現金及び現金同等物の期末残高	1,101 [*]	744	356	1,357	▲255

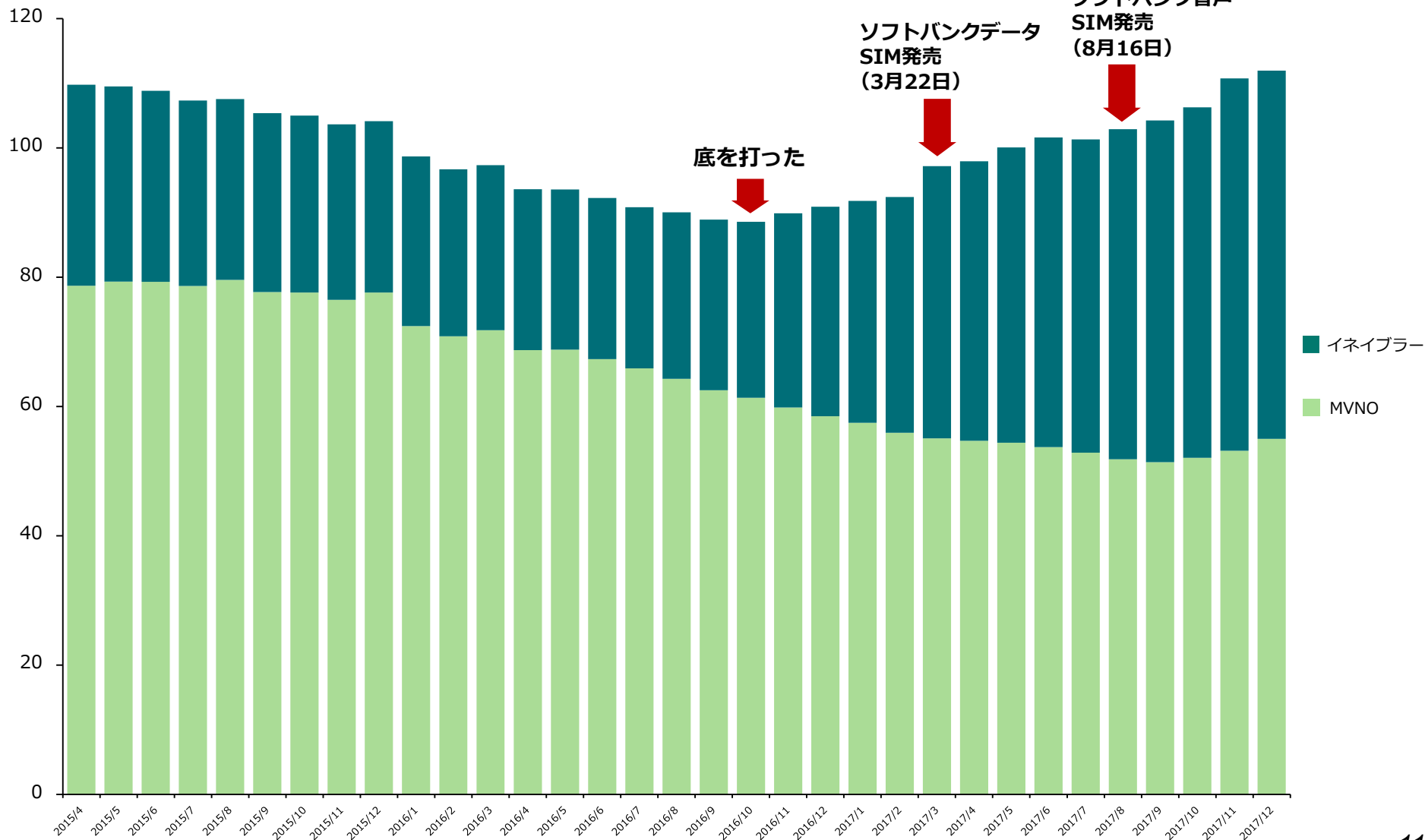
* キャッシュフロー計算書では定期預金1,010百万円が含まれていません。貸借対照表における現金及び預金2,112百万円との差額は
この定期預金によるものです。

通信売上 (連結)

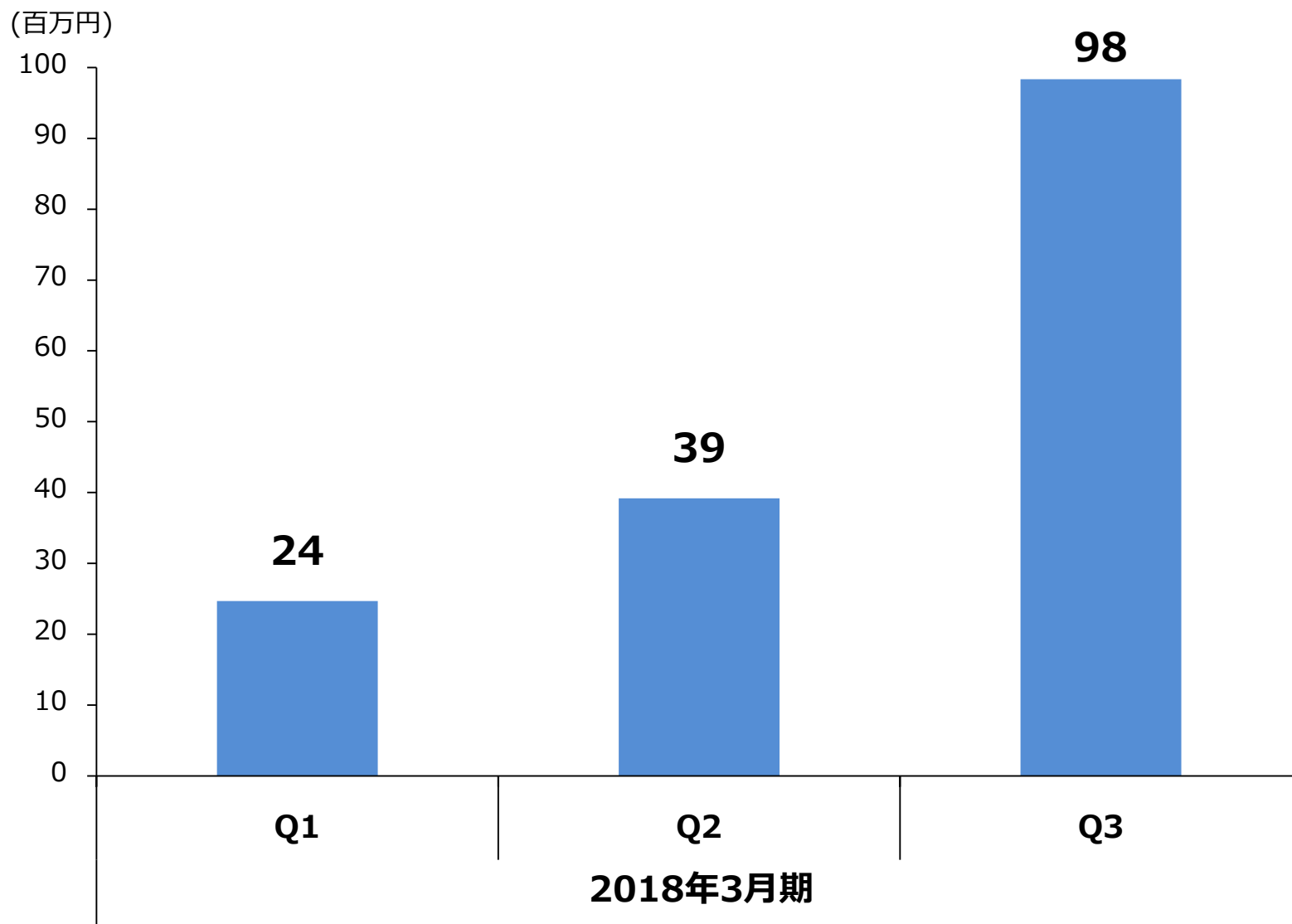


SIM事業 月額課金型SIM回線数

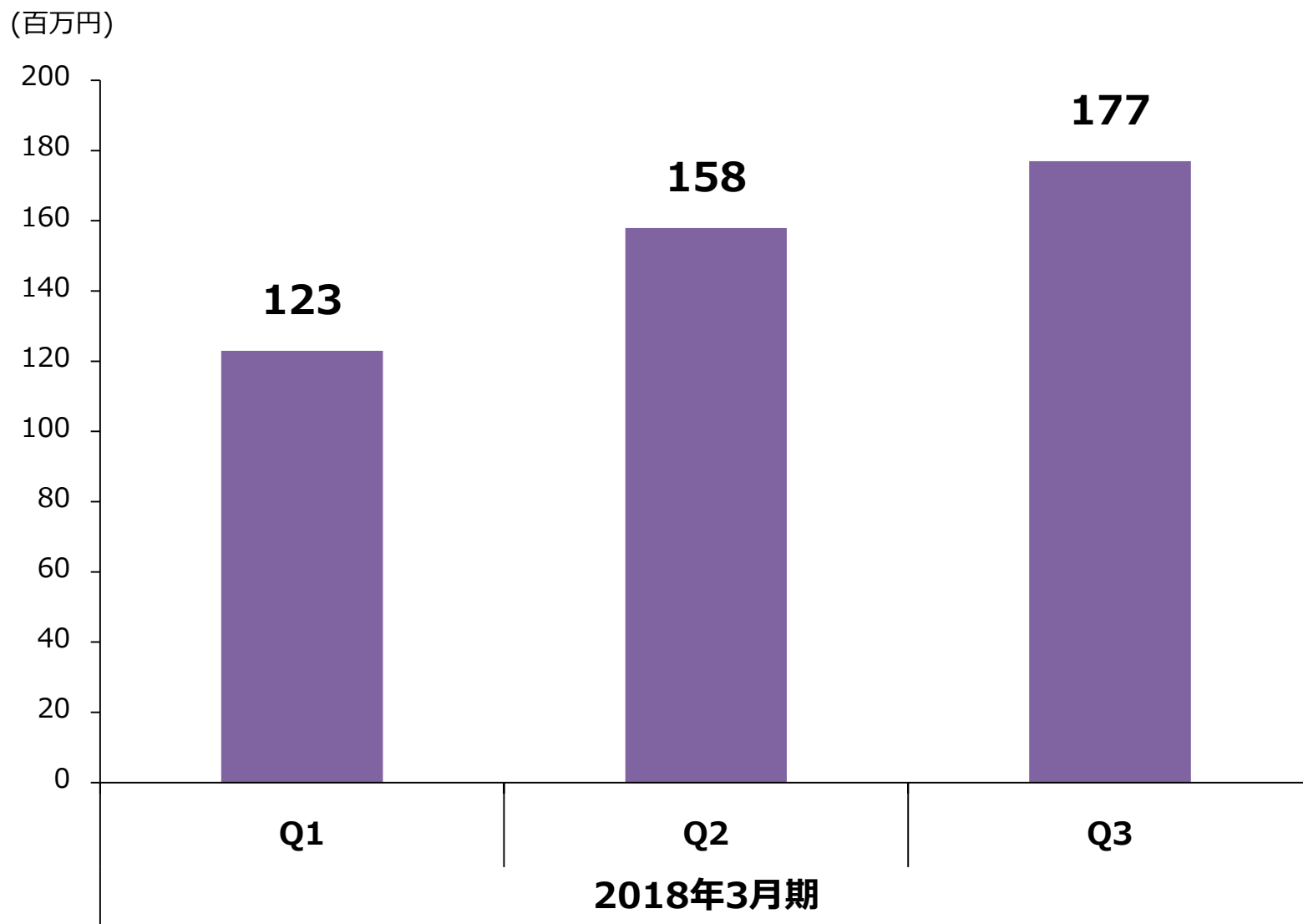
(千回線)



ソフトバンクの月額課金型SIM売上

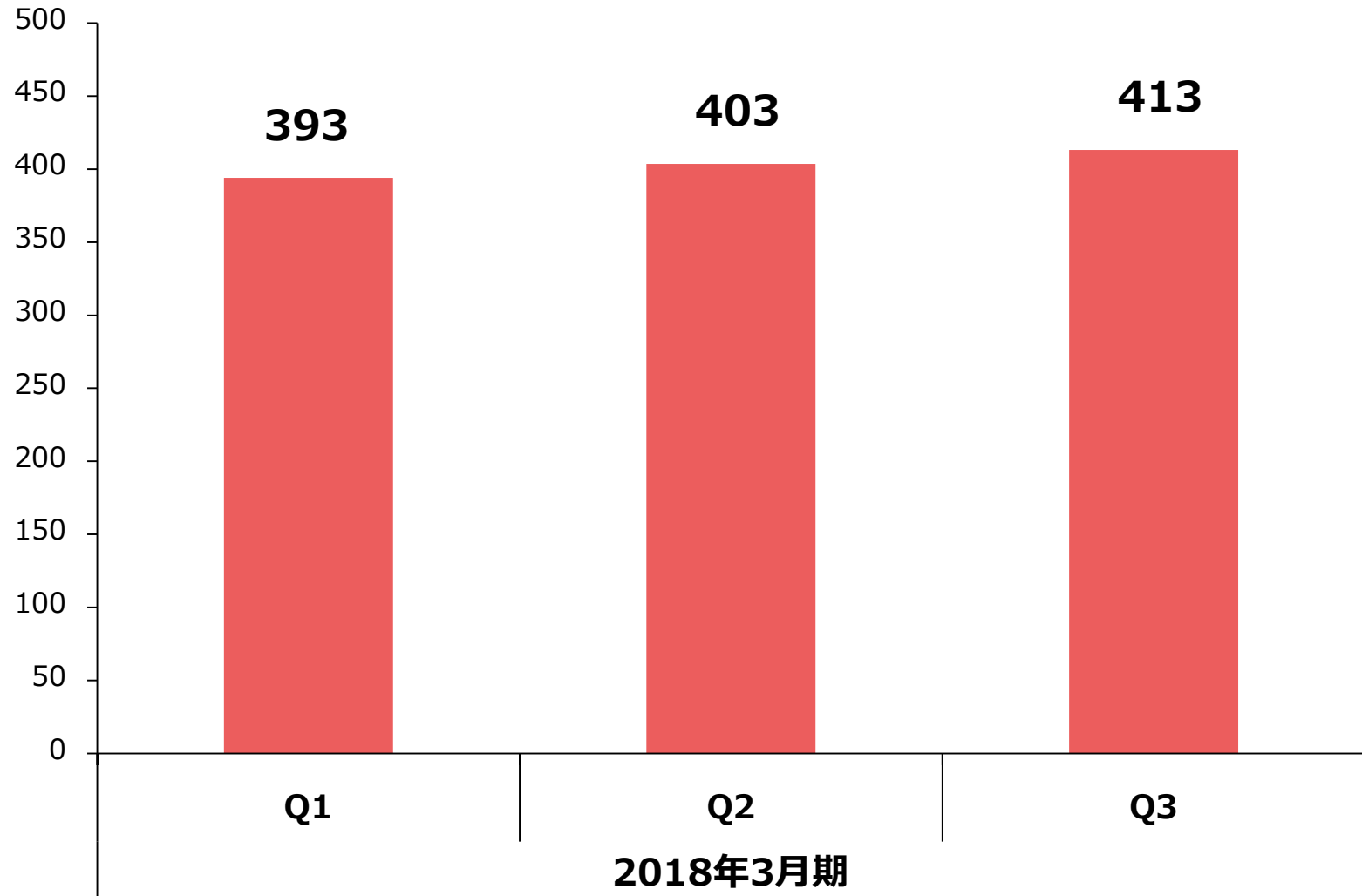


プリペイドSIMの売上



ドコモの月額課金型SIM売上

(百万円)

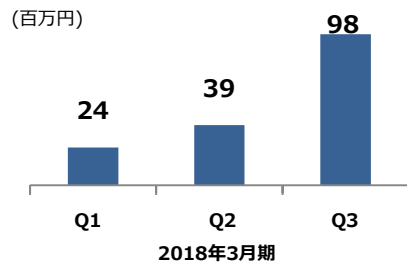


現在の取り組み

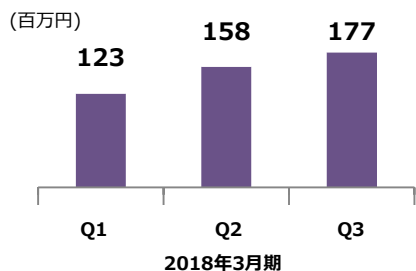
月次黒字化に向けて

黒字化に向けて

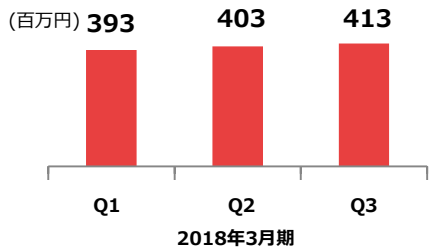
ソフトバンクの 月額課金型SIM売上



プリペイドSIMの売上

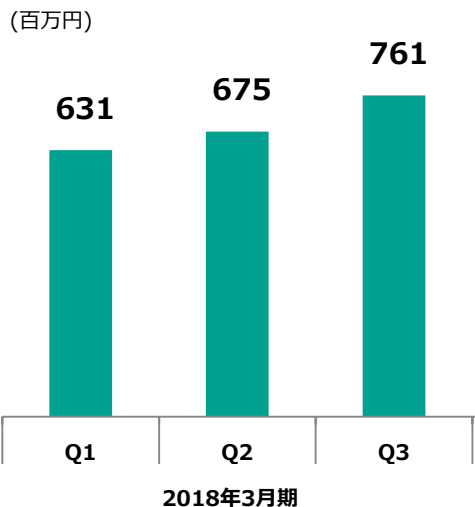


ドコモの月額課金型SIM売上



海外通信売上

通信売上



+

クレジットカード
決済システム

+

対面販売の強化

2018~

“Secure & Reliable
Telecommunications”
(安心・安全な通信)
を先導し、飛躍的成長

2007~2017

“MVNO市場”を作り
成長させた

- Fintech
- セキュア・オフィス
- IoT 他

- 格安SIM
- 753社のMVNO事業者

1996~2007

MVNOビジネスモデル
を実証

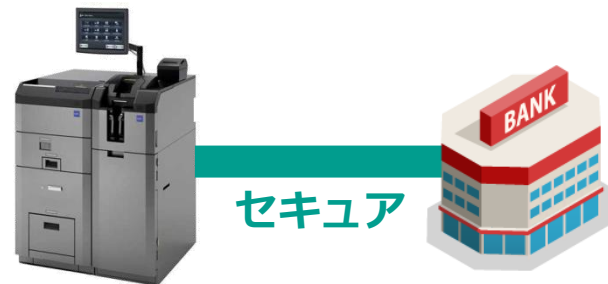
- テレコムサービス
- PHS MVNOサービス

現在、提供中のFintechソリューション 日本通信株式会社 Japan Communications Inc.

ATM / 両替機



小売店舗内設置型金庫

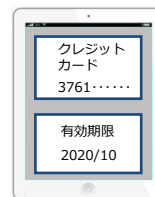


移動ATM



クレジットカード決済

タブレット



GMO-PG

セキュア

Fintech プラットフォーム

Secure & ReliableなオフィスICT環境が求められている

- 割賦販売法（クレジットカード取引等を対象）



Wi-Fi・Bluetooth・USBを禁止



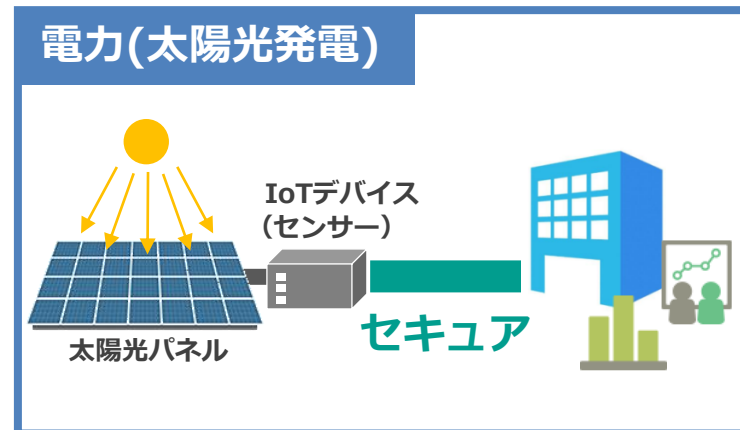
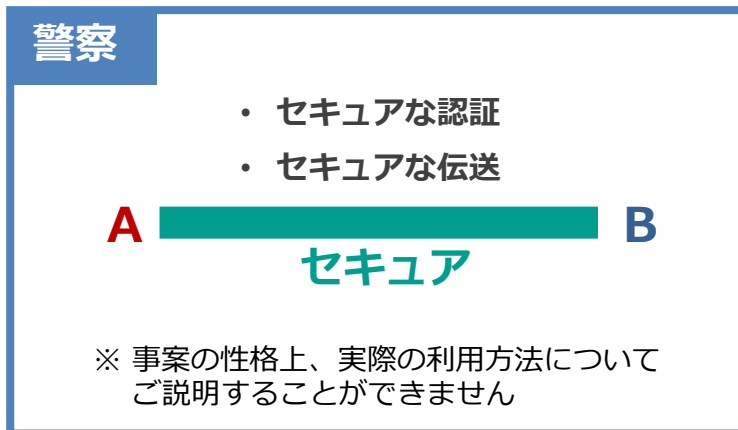
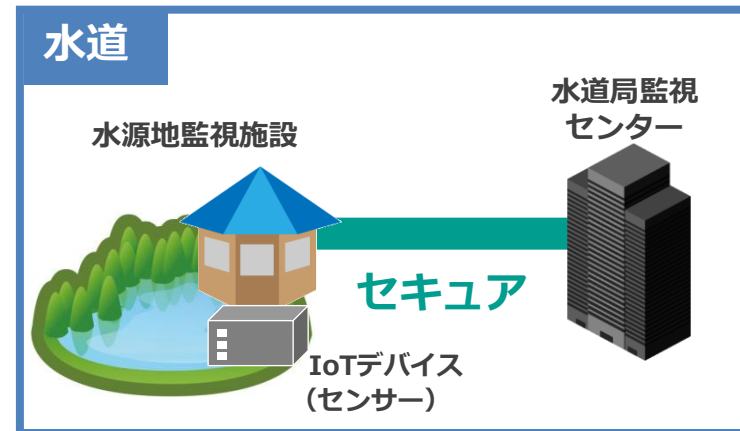
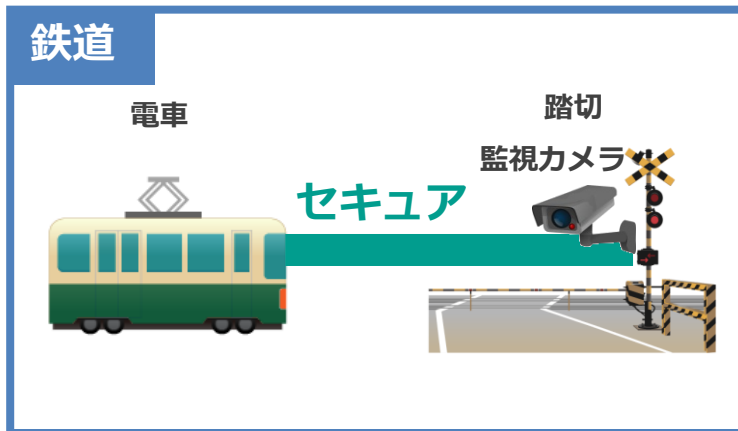
LTE内蔵機器（ノートPC・タブレット他）で
Wi-Fi機能を停止して使用

- 大手企業及び公共団体でPCのLTE化の方針

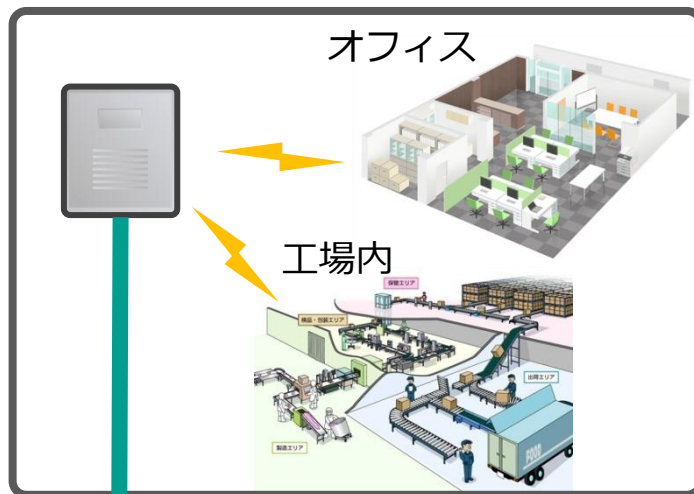


ドコモ網、ソフトバンク網、プライベートLTE網を
ハイブリッドで提供

現在、提供中のIoTソリューション



- LTEベースのIoT網を提供
- インターネットとは切り離されたネットワークによりセキュリティを確保



u-LTE基地局



地域BWA基地局

日本通信IoTネットワーク基盤

Q & A